

モニタリングシート（国文学科）

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
1	前年度の向上・改善施策の実施状況（成果・課題・継続事項）はどのような状況か。	・自己点検・評価から見る課題に対する向上・改善施策	各種ポリシー及びカリキュラムの整合性をとるべく検討を継続している。	各種ポリシー及びカリキュラムの整合性をとるべく検討を継続する。	各種ポリシー及びカリキュラムの整合性をとるべく、引き続き検討する。
2	経年でみた志願者動向はどのような状況か。	・各種入試結果（入試区分別・高校ランク等）	2019年度に複数の入試区分において志願者数の大幅な増加がみられたが、その後は「指定校」を除き、右肩下がり傾向が続いている。	受験生にアピールできるような改善に取り組むとともに、情報発信に努める。	受験生にアピールできるよう教育内容の改善に取り組むとともに、大学 HP 国文学科「新着情報」等での情報発信に努める。
3	経年でみた新入生の動向はどのような状況か。	・新入生アンケート（第一志望・選択理由・本学への期待等）	・本学国文学科を第一志望とした新入生の割合が2021年をピークとして2年連続で低下している。 ・「進路決定する際に本学について知りたかった情報①」に、国文学科では「授業内容」が最も多くなっている。	「進路決定する際に本学について知りたかった情報①」に、国文学科では「授業内容」が最も多く、情報発信を改善する必要がある。	「授業内容」について、大学 HP 国文学科「新着情報」等での情報発信に努める。
4	DP・CPと関連したカリキュラムが各学位プログラムレベルで適切に設計されているか。	・カリキュラムマップの状況 ・ALCS学修行動比較調査（経験） ・卒業時アンケート（経験）	各種ポリシー（DP,CP,AP、アセスメントポリシー）の改定に合わせて、整合性を確認し、改善点を洗い出した。	各種ポリシー（DP,CP,AP、アセスメントポリシー）の整合性を確認し、さらに改善点を洗い出す。	各種ポリシー（DP,CP,AP、アセスメントポリシー）の整合性を確認し、さらに改善点を洗い出す。
5	カリキュラム・授業は、適切に運営されているか。	・授業アンケート ・ALCS学修行動比較調査（経験） ・卒業時アンケート（経験） ・最低修業年限卒業率	・各種ポリシー（DP,CP,AP、アセスメントポリシー）の改定に合わせて、整合性を確認し、改善点を洗い出した。 ・学位プログラム全体で授業実施において問題は見られない。 ・CPに定められた内容が、学修経験に反映されている。	・各種ポリシー（DP,CP,AP、アセスメントポリシー）の整合性を確認し、さらに改善点を洗い出す。 ・学位プログラム全体で授業実施において問題がないか、継続的に確認していく。 ・CPに定められた内容が、学修経験に反映されているか、継続的に確認していく。	・各種ポリシー（DP,CP,AP、アセスメントポリシー）の整合性を確認し、さらに改善点を洗い出す。 ・学位プログラム全体で授業実施において問題がないか、継続的に確認していく。 ・CPに定められた内容が、学修経験に反映されているか、継続的に確認していく。

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
6	DP にもとづく学修成果の到達度の状況。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリックスキル測定テスト（3回生） ・ALCS 学修行動比較調査（修得度） ・卒業時アンケート（修得度） ・進路・就職結果データ ・免許・資格取得状況 	各 DP の修得状況に特に問題はないが、「4つの力」のうち「情報収集力」「課題発見力」が他に比べて低い。	「情報収集力」「課題発見力」を修得し向上させる課題を増やす必要がある。	「情報収集力」「課題発見力」を修得し向上させる課題を増やすよう、学科内で議論し、各教員が授業に反映させる。
7	進路・就職及び免許・資格取得状況。	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時アンケート（修得度） ・進路・就職結果データ ・免許・資格取得状況 	・進路・就職状況や免許・資格取得状況に特に問題は見られない。	・進路・就職状況や免許・資格取得状況を継続的に確認していく。	・進路・就職状況や免許・資格取得状況を継続的に確認していく。
8	各科目の成績および卒業論文・研究が適切に評価されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目の成績分布 ・卒業論文・研究の判定結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・科目間で多少のばらつきは見られるが、各科目の到達目標が異なるため、一律の比較はできない。ただし、同一科目内でのばらつきが見られるものもある。 ・卒業論文はカリキュラム全体構造の中で問題なく機能している。 	同一科目内でのばらつきが見られるものもある。	同一科目内でのばらつきが見られるものについて、学科内で分析・検討する必要がある。
9	職位・年齢のバランス、非常勤比率に留意し、かつ、カリキュラムに基づく教員組織となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・所属教員の状況 ・科目群別非常勤比率 	教員組織編成に問題は見られない。	教員組織編成に問題は見られない。	引き続き、教員組織編成を確認していく。
10	学科個別の FD について、課題認識および今後の方向性、外部環境を踏まえた FD を実施できているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・FD の取り組み状況 ・前年度点検シート ・自己点検・評価から見る課題に対する向上・改善施策 	入学時点で学力が不足している学生への指導について研修会を実施する。	入学時点で学力が不足している学生への指導について研修会を実施し、学科内での議論を経て、各教員が授業に活かす。	入学時点で学力が不足している学生への指導について実施した研修会を承け、学科内での議論を経て、各教員が授業で取りくんだ内容について検証する。
11	上記以外で「継続すること」「課題」「次へのアクション」「全学レベルで検討すべき事項(提案)」があれば入力	<ul style="list-style-type: none"> ・各種データ 			